

# なぜ千葉市に？ 芸術祭が 必要なのか？

Why Chiba City  
needs an art triennale? /

千葉国際芸術祭ラウンドテーブル 01

「なぜ千葉市に芸術祭が必要なのか？」

2024年2月28日(水) 10:30~12:00

会場：千葉市美術館さや堂ホール

主催：千葉国際芸術祭実行委員会

# 千葉国際芸術祭ラウンドテーブル 01

## 「なぜ千葉市に芸術祭が必要なのか？」

2025 年度に本会期を迎える「千葉国際芸術祭 2025」は、千葉市のまちなかに内在する自然・文化・人材・歴史などの地域の宝をアートと繋げ、千葉市の将来を見据えた「人づくり」「まちづくり」「未来づくり」を目指す市民参加型の芸術祭です。

このたび千葉国際芸術祭 2025 のキックオフイベントとして、本芸術祭の総合ディレクターをはじめ、芸術、行政から登壇者を迎えたラウンドテーブル型のトークイベントを開催いたします。

本イベントでは、登壇者が立場の隔てなく意見交換を行い、様々な領域で活躍する市民や企業も参加します。「なぜ千葉市に芸術祭が必要なのか」という問いを軸にそれぞれの立場から思いを語るとともに、千葉市の文化芸術の振興から文化芸術によるまちづくりまで、深く意見交換を行います。

### 登壇者プロフィール

中村 政人 （千葉国際芸術祭 総合ディレクター）

1963 年生まれ。アーティスト。東京藝術大学絵画科教授・副学長。「アート × コミュニティ × 産業」の新たな繋がりを生み出す社会派アーティスト。

全国で地域再生型アートプロジェクトを展開し、2010 年民設民営の文化施設「アーツ千代田 3331」を創設。2020 年より「東京ビエンナーレ」の総合ディレクターを務める。平成 22 年度芸術選奨受賞。2018 年日本建築学会文化賞受賞。



藤 浩志 （アーティスト）

1960 年生まれ。京都市立芸術大学卒業。同大学大学院を修了後、86 年から 2 年間、青年海外協力隊員としてパプアニューギニア国立芸術学校に勤務し、美術を指導。自宅に眠っている不要なおもちゃを持ち寄り交換する「かえっこ」といったプロジェクトも長年にわたって行ってきた。

2014～16 年まで十和田市現代美術館館長。現在、秋田公立美術大学美術学部美術学科教授。



山梨 絵美子 （千葉市美術館館長）

1958 年生まれ。東京大学文学部美術史学科、同大学院修了。1984 年に東京国立文化財研究所の연구원となり、独立行政法人化以降も同研究所にて近現代美術史の調査研究に携わってきた。現在は、日本博物館協会会長、全国美術館会議理事、独立行政法人東京文化財研究所名誉研究員、東京都美術館運営委員会委員や千葉県文化財審議会委員を務めている。

専門分野は日本近代美術史で、高橋由一、小林清親、黒田清輝などについての著作がある。



神谷 俊一 （千葉市長）

1973 年生まれ。東京大学経済学部卒業後、旧自治省（現総務省）に入省。在ヨルダン日本国大使館、千葉市副市長等を経て、2021 年に千葉市長に初当選。副市長時代より、企業立地施策や産業用地整備で成果を上げるほか、市長就任後には、世界最大のアクションスポーツ競技会「X Games」の日本初誘致の実現や、県内で初めて環境省の脱炭素先行地域指定の選定を受けるなど、先駆的施策にリーダーシップと調整力を発揮。



千葉国際芸術祭ラウンドテーブル 01  
「なぜ千葉市に芸術祭が必要なのか？」

2024 年 2 月 28 日（水）

10:30～12:00（開場 10:00）

定 員：70 名 当日先着

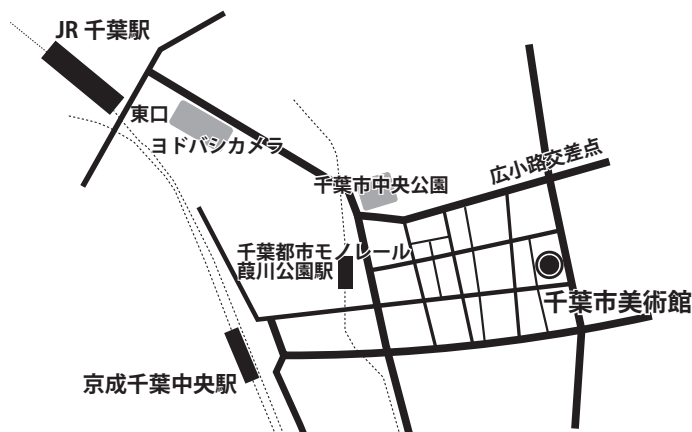
会 場：千葉市美術館 さや堂ホール (1F)  
(千葉県千葉市中央区中央 3-10-8)

主 催：千葉国際芸術祭実行委員会

問合せ先：千葉国際芸術祭実行委員会事務局  
(千葉市市民局生活文化スポーツ部文化振興課)

メール [bunka.CIL@city.chiba.lg.jp](mailto:bunka.CIL@city.chiba.lg.jp)

電話 043-245-5961



- ・JR 千葉駅東口から徒歩約 15 分
- ・京成千葉中央駅東口から徒歩約 10 分
- ・京成バス（バスのりば 7）から大病院行または南矢作行にて「中央 3 丁目」または「大和橋」下車徒歩約 3 分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川（よしかわ）公園駅」下車徒歩 5 分